

# 南仏治安情報（2011年12月）

## ■プロヴァンス地方

### 1. 銃を使用した殺人事件が多発

11月末から12月にかけて、マルセイユ市を中心に10件もの銃を使用した殺人事件が発生しました。発生時間帯は早朝もしくは夜間で、被害者はバーなどの店内で銃撃された他、銃殺された後に放火車両の中から遺体が発見された事件もありました。多くは麻薬取引に関与するグループ間抗争と見られていますが、流れ弾による被害の危険性もあります。十分ご注意ください。

### 2. マルセイユ市北部の治安悪化

これまでも治安悪化が懸念されていたマルセイユ市北部ですが、12月に入り13区および14区で更なる悪化が見られます。特に13区では暴力を伴う恐喝・強盗事件及び建物の破壊を伴う空き巣被害が前年同時期に比べ30%増加し、14区では空き巣被害が64%もの増加を見せています。

### 3. 強盗事件などでカラシニコフの使用が増加

11月28日にVitrollesで発生した強盗事件では犯人追跡の最中に警官1名が殉職、流れ弾に当たった犯人1名も死亡、その翌日のマルセイユ13区の工具店前で発生した強盗事件では、犯人が駆けつけた警官に向け発砲するなど、銃による被害が多く発生しています。最近では戦闘用のAK-47（1947年式カラシニコフ自動小銃）が闇取引され強盗事件などにも使われているようです。

### 4. 盗品を売買した宝石商3人を逮捕

12月に入りマルセイユでは、強盗や空き巣などの盗品と知りながら、特に金などの宝飾品を買取り転売していた宝石商3人が逮捕されました。2011年6月に強盗容疑で逮捕された16歳の少年の供述を元に、警察が捜査を続けた成果で、これを元に更に盗品の密売ルートを明らかにしていく予定です。

## ■コートダジュール地方・コルシカ島

### 1. ニース市内の犯罪件数が減少傾向に

2011年の犯罪統計によると、ニース市内での犯罪件数は前年に比べ7.7%減少していることが明らかになりました。内訳では、車両への放火が18%、空き巣被害が14%、ひったくりが18%減少しています。2010年3月から市内に設置されている監視カメラの効果が上がっているためで、約600件の取調べにつながっています。市では今後もカメラを増強していく予定です。

### 2. 未成年者による空き巣狙いの発生

12月には地方紙が報じたものだけで、未成年者6人が空き巣狙いの疑いで逮捕されました。13歳と18歳の少年2人組はニース市Mont Boron地区を中心に発生した10数件の事件への関与を認めており、また16日に空き巣に入った未成年者4人組が、盗んだノートパソコンでインターネットに接続したことから居所を突き止められ逮捕につながる事件もありました。

### 3. 中高生による一連の暴力事件の発生

当地方では11月中旬にCagnes-sur-Mer市で12～15歳の少女グループによる暴力事件が発生しましたが、12月に入りSaint-Laurent-du-Var市で少女4人少年1人のグループが2人の少女に暴力を加え携帯電話で録画する事件が発生しました。またLa-Seyne-sur-Mer市でも女子高校生6人が少女3人組に暴力を受ける事件が発生しており、若者の間で不安が高まっています。

### 4. PACA地方の水質汚染に警笛

プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方の河川および同地方沖やコルシカ島周辺を含む海水中に含まれる殺虫剤、農薬などの汚染物質は3820トンを超えていることが明らかになりました。当地方の河川の60%で汚染物質が検出され、その内45%は8年前から使用禁止とされている6種類の農薬を含んでいました。

## ■ミディ・ピレネー地方

### 1. 商店への強盗事件が頻発

12月は地方紙2紙が報じたものだけで26件の強盗事件が発生しました。内16件はトゥールーズ市内で発生しており、被害は主にタバコ屋、パン屋などの小型商店でした。またNarbonne市で3日に渡り3件の強盗事件が連続して発生したり、トゥールーズ市でも同一犯によるものと思われる連続犯行が見られました。犯人の多くは未だ逮捕されていません。

### 2. 空き巣被害の増加

トゥールーズ市および近郊都市では、宝石店や小型商店への空き巣が22件、宝飾品類や小型情報機器を狙った家屋への空き巣が15件報じられています。警察や憲兵のパトロール強化や注意喚起にも関わらず、12月中には前月に比べ50%の増加を見せています。今後も戸締りなどには十分ご注意ください。

### 3. 空き巣狙いグループを逮捕、大掛かりな犯行組織が明らかに

12月中旬にトゥールーズ市内およびSeine-et-Marne県内で計20人の空き巣狙いが逮捕されました。犯人グループは夜間ショッピングセンターの屋根に穴を開け、縄ばしごなどで店内に侵入しHi-fi機器や革製品、高級靴などを盗んで転売していました。Seine-et-Marne県出身のメンバーの一部が当地方へ引越して、犯行や転売の拠点をして活動していたようです。

### 4. 携帯電話を狙った窃盗事件の発生

12月には高機能携帯電話を狙ったひったくりや、ナイフなどを使用した恐喝事件などが複数発生した他、商店への空き巣なども発生しました。また12月22日には数十個の携帯電話を運搬中の配達員が強盗に遭い、梱包用具で縛られた後放置され、積荷をトラックごと盗まれる事件も発生しました。盗品の多くは既に転売されていると見られています。

\* 以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。